



NZイベント出演のヘイリーに関して

日本でも人気のテレビ・ドラマや映画の主題歌が話題となったNZ出身のヘイリー。NZナショナル・デーに彼女の特別パフォーマンスが行われます。既に何度も来日し、コンサートを精力的に行っているヘイリーですが、NZナショナル・デー特別編成の演奏が見られるのは、愛知万博だけです。

NZイベント



時間	15時および19時から約1時間
場所	エキスポ・ホール
出演者および内容	ヘイリーその他
整理券配布	整理券をNZ館で午前10時から配布します。先着順。

ヘイリーのプロフィール

ニュージーランド、クライストチャーチ出身のシンガー。6歳の時にヴァイオリンのレッスンを初め、その後、ピアノ、リコーダー、ジャズダンス、バレエなども習得していく。二人の妹・弟と共に、バスキング(路上パフォーマンス)をしていた彼女は、2000年、デモ・アルバムを作る。それが直ちに話題を呼び、ユニバーサルニュージーランドと契約。2001年にリリースされたNZデビュー・アルバムは、POPチャートを駆け上り、4週連続No.1。トリプル・プラチナを獲得し、国内で最も早くトップの女性アーティストとなった。2003年夏、Deccaレーベルより、インターナショナルデビューを果たす。

舞台を降りれば、ヘイリーは典型的なティーンエイジャーである。音楽は彼女の最優先事項であるが、ネットボールや水泳、室内のロック・クライミングにも熱心で、クロス・カンントリー走では学校の代表選手にもなった。『音楽以外では、バレエを踊るのも好きだし(ロイヤル・ニュージーランド・バレエの舞台に出演した経験もある)、読書、映画鑑賞、ショッピング、それに友達とブラブラするのも好きです。音楽を聴くのも好きで、お気に入りのアーティストはネリー・ファタード、クレイグ・ディヴィッド、シャキラ、ザ・コーアズ、ヴァネッサ・カルトンです』。

彼女は歌を自分のものにするためには、まず初めにそれが何を言っているかを理解し、その内部に踏み込んで、聴衆に感情を表現するということを知っている。それがフランス語やドイツ語、イタリア語(これらは彼女が学んだ言語である)、英語、マオリ語でのオペラのような曲であるかどうかにかかわらず、彼女は全てのニュアンスを理解しているということを確認するのである。

ヘイリーはアルバム『Pure』の曲を選択するにあたって、新たな境地に踏み出した。『以前はショウの曲や軽めのクラシック曲を歌っていました。それらは一つのジャンルに限られていたけれど、今ではより沢山のヴァリエティに富んでいます。これからはさらに正式なクラシック曲よりポップな歌を追求していこうと思っています。このアルバムを制作することで、私の歌い方も幅が広がったし、異なった歌唱スタイルも身につけました』。彼女の初のインターナショナル・リリースのCDである『PURE』ではポップスやマオリの伝統的な合唱曲を追求し、ビートルズの伝説のプロデューサー、サー・ジョージ・マーティンによるアレンジの『アメージング・グレイス』に新風を吹きこんでいる。サー・ジョージは、彼女のために特別に『Beat of your Heart』を作曲し、この曲はヘイリー自身によれば"シンフォニック・ポップ"と表現されるものである。彼女は彼のような大物が彼女のために曲を書いてくれて嬉しく思っている。芸術の才能を持つ3人兄弟(アイザック、ソフィー、ヘイリー)の一番上に生まれたヘイリーは、ピアノ、ヴァイオリン、バレエに精通している。クライストチャーチの宝石学者であるジェラルドと妻のジルは、その子供達をサポートはしたが、押しつけがましいステージ・ペアレンツではなかった。彼らは子供達の芸術面での希望を、それが踊りでも、音楽でも演劇でも、手助けしている。

出演者、スケジュールはやむを得ない事情により変更される場合があります。ご了承ください。

